

◎コルスバシ静注透析用シリンジ [注]

【重要度】 【一般製剤名】ジフェリケファリン酢酸塩 Difelikefalin Acetate 【分類】透析そう痒症改善剤〔κオピオイド受容体選択的作動薬〕

【単位】◎17.5μg・◎25.0μg/◎35.0μg/Syr [全て0.7mL]

【常用量】DWに応じ1回量を設定

45kg未満：17.5μg

45kg以上65kg未満：25.0μg

65kg以上85kg未満：35.0μg

85kg以上：42.5μg

【用法】週3回、HD終了返血時に静脈回路から投与

【透析患者への投与方法】常用量（1）

中等度以上の透析掻痒症に対してかゆみの改善と関連するQOL向上が得られた（Fotheringham J, et al: Patient 2024 PMID: 38196014）

かゆみの軽減をもたらす[メタ解析]（Xue G, et al: Clin Nephrol 2024 PMID: 38294219）

かゆみの改善とともに睡眠障害への良好な効果が得られた（Weiner DE, et al: Nephrol Dial Transplant 2023 PMID: 37968132）

【保存期CKD患者への投与方法】HD例のみに適用（1）

CKDG3-5/5Dでの経口投与による効果を確認（Yosipovitch G, et al: J Am Acad Dermatol 2023 PMID: 37059302）

【特徴】κオピオイド受容体（KOR）の選択的な作動薬。既存治療で効果不十分な場合の血液透析患者のそう痒症に適用。慢性肝疾患によるかゆみには適応がない。マウスでは投与後12時間効果が持続している。

【主な副作用・毒性】浮動性めまい、傾眠、血圧低下、ほてり、倦怠感、甲状腺ホルモン低下、TSH低下、プロラクチン増加、頭痛、下痢、精神状態変化など

【安全性に関する情報】自動車運転等禁止[眠気、めまい]（1）急に中止しても離脱症状は認められていない（Spencer RH, et al: Clin Transl Sci 2023 PMID: 37128642）

【代謝】代謝されない（1）代謝酵素やトランスポーターの基質ではなく阻害しない（1）

【排泄】尿中未変化体排泄率80%[健康人]、HD患者は60%糞便中に排泄され、20%がHD除去される（Stark JG, et al: Clin Pharmacokinet 2023 PMID: 37369955）

[t1/2]健康人2～3hr、透析40hr（1）HD患者に反復投与しても透析性が高いためほとんど蓄積しない（1）

【蛋白結合率】23.3～27.5%[HD例]（1）

【Vd】0.34L/kg[HD例]（1）

【MW】679.85

【透析性】除去される[濃度低下率76%]（1）

【O/W係数】LogP＝－0.54（1）

【相互作用】オピオイド系薬による相加的あるいは拮抗的作用の可能性（1）

【肝障害患者への投与方法】

【小児CKD患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】妊婦には有益性投与

【主な臨床報告】0.5μg/kgを適用して検証したphase2（Narita I, et al: JAMA Netw Open 2022 PMID: 35511180）

HD患者のNRSスコアを改善（Narita I, et al: NEJM Evid 2023 PMID: 38320524）

電解質利尿と血圧の低下をもたらす[ラット]（Meariman JK, et al: Pharmacol Res 2022 PMID: 36202183）

経口剤（0.25～1mg）にてアトピー性皮膚炎によるかゆみを改善（Guttman-Yassky E, et al: J Allergy Clin Immunol 2023 PMID: 37453614）

【更新日】20241022

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。